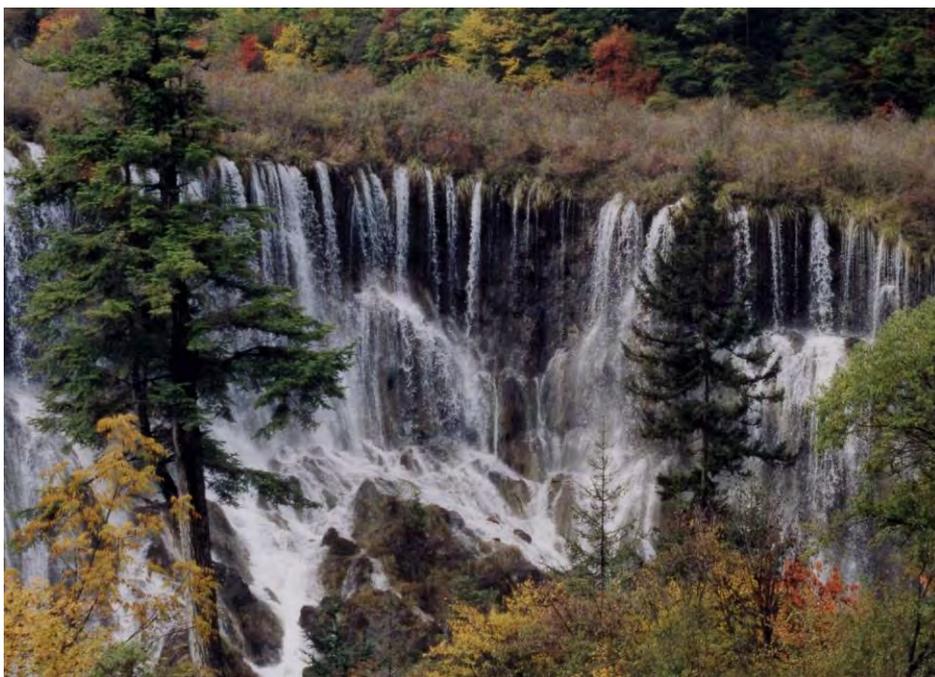


◎ 九寨溝・黄龍 旅行記

2022, 4, 27 渡邊 晴雄



- 1, 始めに
- 2, 九寨溝、黄龍への旅
 - 1) 九寨溝
 - ・長海 ・五彩池 ・諾日朗滝
 - ・珍珠灘 ・珍珠灘瀑布 ・パンダ海
 - ・樹正群海 ・樹正瀑布 ・樹間激流
 - ・チベット村 ・4,000m峠
 - 2) 黄龍
 - ・迎賓彩池
 - ・飛瀑竜輝
 - 3) 都江堰 ・
 - 4) 杭州
- 3, あとがき

1, 始めに

・九寨溝、黄龍は、中国人が “生きている中に、必ず訪れたい” と思っている景勝地で

世界遺産に登録されている。必ず行きたい処と考えていた。

・三条高校同級生では、7回目の旅だった。 (2004, 10, 11 ~ 18)

・今回も中信旅游公司の金吉英氏に、スルーガイドを依頼した。

・コースは

北京 — 成都 — 九寨溝 — 黄龍 — 都江堰 — 杭

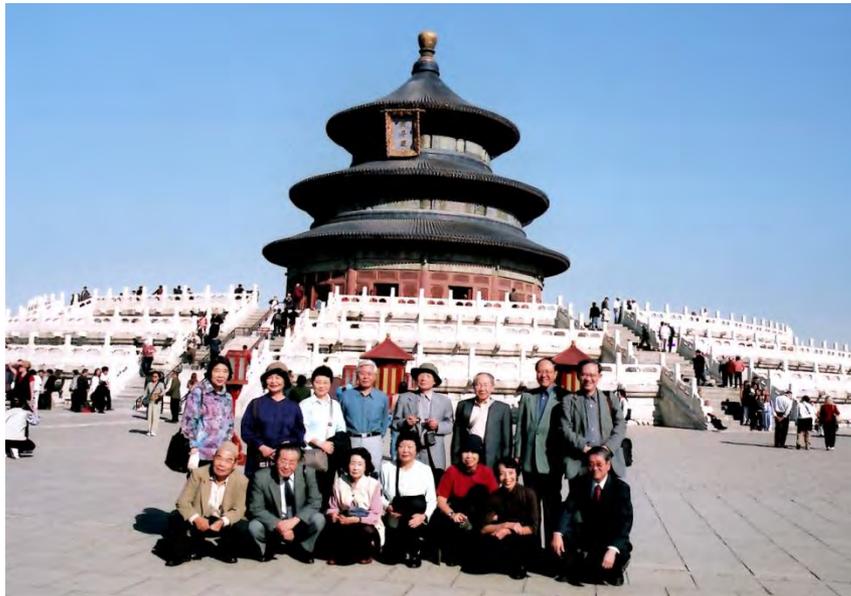
州 — 上海

・九寨溝、黄龍の旅には、16名 が参加した。



* 旅のスタート（北京、成都）

- 北京の天壇（世界遺産）は、明、清代の皇帝が天に五穀豊穡を祈った処。
- 成都では、当時一緒に植林活動を行っていた四川省青年連合会の呉主席との会食会があった。



*** 九寨溝へのバス旅**

成都から九寨溝へ入る交通機関では、飛行機かバスかの選択となるが、飛行機の欠航が頻繁にある事と高山病を避ける事からバス(10時間)を選択した。長時間のバス旅だったが、車窓に写る景色は、楽しかった。法恩寺に立ち寄った。屋根の上の塑像は、見事だった。



* 長池

海拔3,100mにあり、九寨溝の中で、最も大きく、深く、水は澄みきっている。
長海に端に連なってそびえる峰々は、いつも雪に覆われている。
我々が訪ねた時、長海には雪が舞っていた。



* 九寨溝の伝説

- 昔、昔、鏡岩という断崖、絶壁に一人の女神が住んでいた。女神は恋人から美しい鏡をプレゼントされていた。ある時、悪魔が目に付けて、鏡を奪おうとした。女神は必死に抵抗したが、争っているうちに 鏡は山の中に落ちて砕けてしまった。 その破片は100ヶ °以上に分かれて山を彩り、九寨溝の美しい湖沼になった。



*** 諾日朗滝**

九寨溝の滝の王者

滝の幅は329m、高さは30m

鏡池からの水が轟音を響かせて流れ落ちる姿は、壮観。

滝壺には、虹が架かっていた。



* 珍珠灘

傾斜している浅瀬を激しい勢いで、大きな音を立てながら水が走っていく。

水の飛沫が真珠のように見える事から、珍珠灘の名前がついた。九寨溝の中でも際立った迫力のある景観だった。



* 珍珠灘瀑布

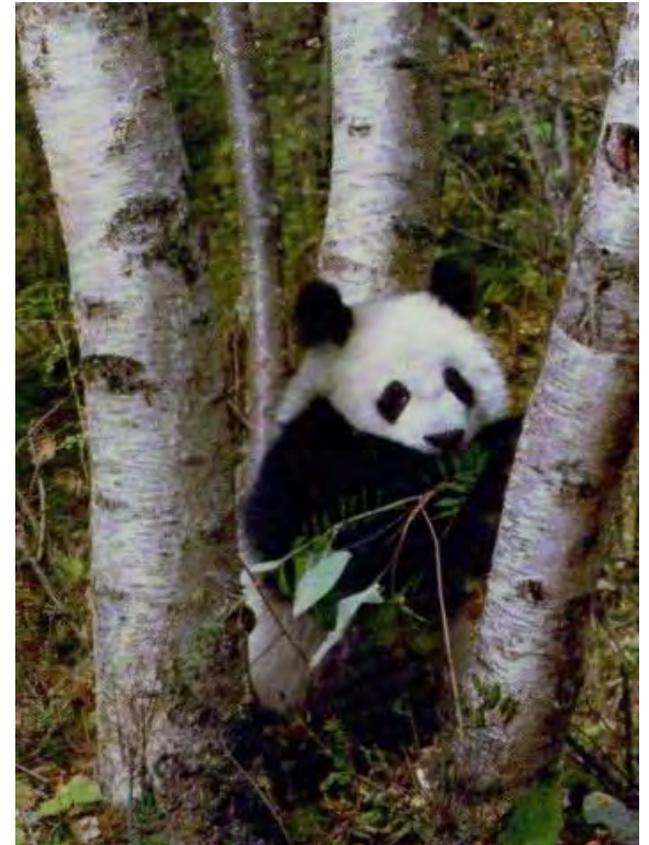
珍珠灘を流れ下った水は、一気に滝となって落下する。



* パンダ海



近くに竹が沢山生えている。
以前、パンダが姿を現わしていたそうだ。
水の色が黄色の所もある。



*** 樹正群海**

多くの小さな湖が棚田状に並び、石灰岩化した湖底に若木が根付き、松、杉、柏等の密生林が形成されている。



*** 樹正瀑布**

木々の間を通過した水は、滝となって相竜海に流れ落ちる。
豪快な眺めである。



* 樹間激流

独特な景観である。

流れに乗って運ばれて来た腐植物が石灰石に固定され、そこに植物が根付き、大きく成長したと言われている。



* 樹正寨(チベット村)

村の入口に大きなマニ車があった。
マニ車を回す事は、読経に相当する。
この宗教は、チベット仏教に似ている
けれど、ボン教である。
仏塔の形も異なる。
大きな村だった。



- * チベット族のショウ
チベット村の劇場で、チベット族の演奏と舞踊を楽しんだ。



* 峠越え

九寨溝から黄龍へ行くには標高4,000mの峠を越えなければならない。黄龍は冬の季節には閉鎖されるが、我々は10月15日の峠越えを計画していた。その前夜、“予想外の降雪で峠の道路が凍結で通行できなくなるかも知れないと伝えられた。でも辛うじて通過できた。峠の頂上(4,000m)で記念写真を撮った。



2)、黄龍

- 黄龍は玉翠峰の麓にある深い溪谷である。
- 3~4億年前の海底から隆起した石灰岩層が氷河に侵食され出来たカルスト地形。
- 黄色がかった乳白色の石灰棚を天に昇っていく竜に例えられた景勝地で、海拔約3,000mの溪谷にある。
- 現在、ケーブルが利用できるが、我々が行った時は、徒歩しか方法がなく、残念ながら頂上の黄龍寺まで辿りつけず、途中で引き返した。



* 迎賓彩池

真白な石灰石が長い年月のうちに削られて、棚田のように見える池状の窪みが、350ヶ所以上も出来ている。

透明度の高いエメラルド・グリーンの水が輝き、縁を越えて下の棚田に流れている姿は、神秘的で雄大な美しさを感じさせる。黄色に色づいている池も見られた。



*** 飛瀑竜輝**

幅は68m、高さ14m。

**水しぶきが太陽の光に当たって輝いている様子から名前が付けられた。
水量はそれほど多くはないが、迎賓彩池に流れ込んで行く。 迫力万点。**



* 五彩池

ここまで辿り着けなかった。(第三者の写真)



- * 黄龍寺 眺望
ここまで辿り着けなかった。(第三者の写真)



***バス・ストップでの情景**

長時間のバス旅だった。

時々止まるバスストップの近くには、土地の産物を売っていた。

買い食いは楽しかった。



爺さん、母と娘、色々な人たちが働いていた。



* 都江堰

2000年程前に蜀の太守だった李氏親子が水不足や灌漑で苦しんでいた問題を解決する為に民衆を動員して、大規模な水利工事を行った。岷江の中流に魚嘴と言う水利調整堤を設けて、内江と外江に分流。内江は多数の用水路に分けられ成都平原の耕地を灌漑。外江は本流の洪水調節の役目を果たす。そして水運も便利となり、“天府の国” とうたわれる大穀倉地帯になった。

中国。都江堰。 城市活水原岛独栋别墅，仅献 20席。

心慕都江堰，蓄势洲屿上。

都江堰的厚重历史积淀，青城山上的葱郁幽静，绝对令人心慕向往。

都江堰—水郡；以其天生丽质。

活水原岛上珍藏的20席尊邸，更显拥有之稀有魅力。



都江堰 機能図

友人である中国人の孔さんが、都江堰 を見るとを熱心に勧めてくれた。



* 杭州

1276年 マルコポーロが杭州を訪ね、“世界で最も豪華、富裕な都市”
と杭州の繁栄を 東方見聞録 に 書いている。
西湖は、2011年に世界文化遺産に登録された。

下の写真は、靈隠寺。
屋根の反りと飾りが素晴らしい。



*** 六和塔を背景として西湖の湖面が美しく、輝いていた。**

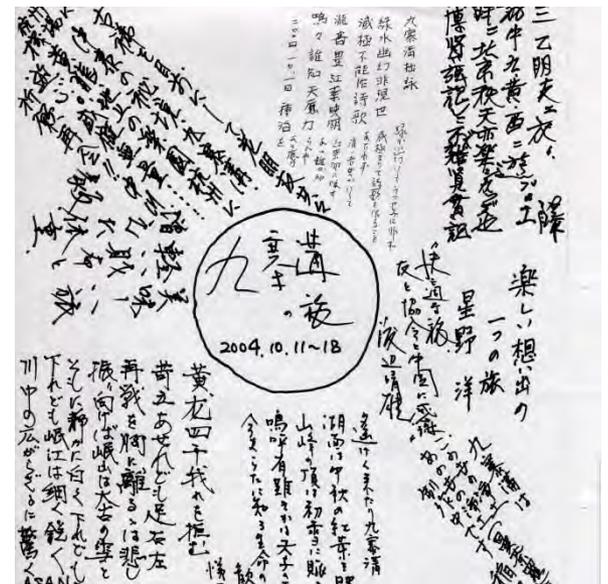
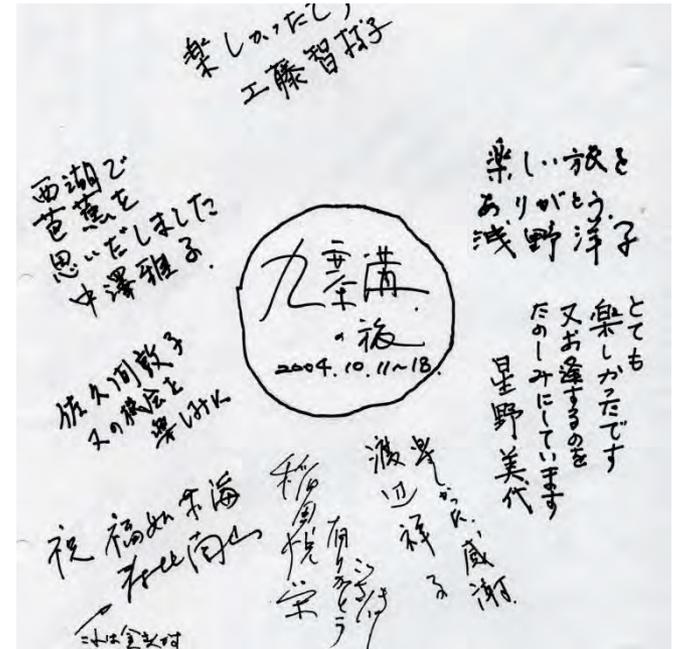
*** 夕日に映える西湖もきれいだった。**



3, あとがき

恒例の寄せ書きで参加者のコメント。

事故は何もなく、全員が満足出来た旅だった。
楽しかった。



九寨溝



結	○○	転	○○	承	○○	起	○○
忘	○	驚	○	白	●	緑	●
疲	○	看	●	瀑	●	林	○
更	○	神	○	轟	○	幽	○
入	●	工	○	鳴	○	映	●
次	●	蜀	●	嶮	●	鏡	●
壺	○	山	○	壁	●	池	○
天	◎	景	●	淵	◎	先	◎
疲 <small>つか</small> れを忘 <small>わす</small> れ 更 <small>さら</small> に入 <small>い</small> る 次 <small>つき</small> なる壺 <small>こてん</small> 天		驚 <small>おどろ</small> き看 <small>み</small> る 神 <small>かみ</small> の工 <small>たくみ</small> 蜀 <small>しよくさん</small> 山 <small>けい</small> の景		白 <small>はくばく</small> 瀑 <small>とどろ</small> 轟 <small>な</small> き鳴 <small>な</small> る 嶮 <small>けんべき</small> 壁 <small>ふち</small> の淵		緑 <small>りよくりん</small> 林 <small>しずか</small> 幽 <small>うつつ</small> に映 <small>きようち</small> す 鏡 <small>さき</small> 池 <small>さき</small> の先	

詩題「九寨溝」(先韻) 蒼風 西脇英夫
 詩題書き下し文(九寨溝) (きゆうさいこう)